

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2025年6月19日(19.06.2025)



(10) 国際公開番号

WO 2025/126366 A1

(51) 国際特許分類:

G06T 13/80 (2011.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2023/044637

(22) 国際出願日: 2023年12月13日(13.12.2023)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 日本電信電話株式会社 (NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION) [JP/JP]; 〒1008116 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 (JP).

(72) 発明者: 矢澤 櫻子 (YAZAWA Sakurako); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 大西 隆之 (ONISHI Takayuki); 〒1808585 東京都武蔵野市

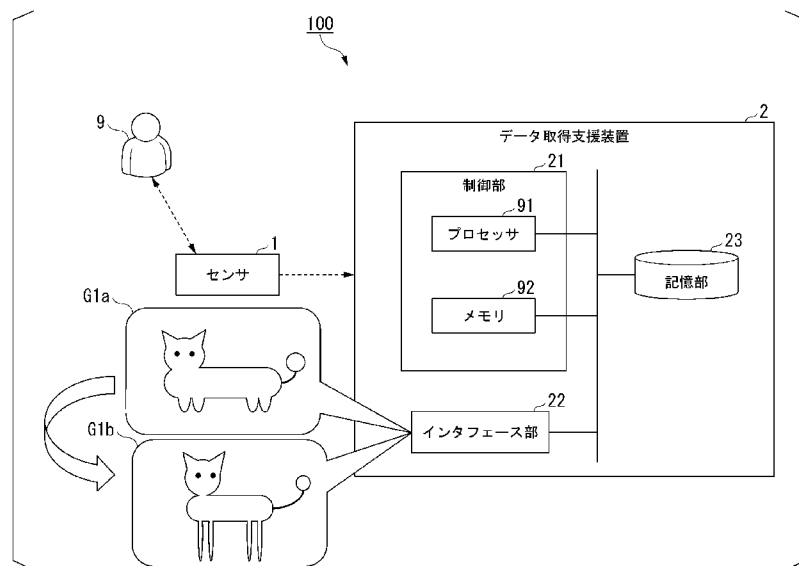
緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 磯貝 愛 (ISOGAI Megumi); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 澤田 雅人 (SAWADA Masato); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 山口 仁 (YAMAGUCHI Hitoshi); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 岡見 和樹 (OKAMI Kazuki); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP). 為近 彩智 (TAMECHIKA Sachi); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-1 NTT知的財産センタ内 (JP).

(74) 代理人: 弁理士法人志賀国際特許事務所 (SHIGA INTERNATIONAL PATENT OFFICE);

(54) Title: DATA ACQUISITION ASSISTANCE DEVICE, DATA ACQUISITION ASSISTANCE METHOD, AND PROGRAM

(54) 発明の名称: データ取得支援装置、データ取得支援方法及びプログラム

【図1】



- 1 Sensor
- 2 Data acquisition assistance device
- 21 Control unit
- 22 Interface unit
- 23 Storage unit
- 91 Processor
- 92 Memory

(57) Abstract: One aspect of the present invention is a data acquisition assistance device comprising a control unit which controls so that a character image, which is an image of a character, is displayed at a prescribed output destination. The control unit changes the appearance of the character in accordance with data obtained from an acquisition target.

(57) 要約: 本発明の一態様は、キャラクターの画像であるキャラクター画像を所定の出力先に表示させる制御部、を備え、前記制御部は、取得対象から得られるデータに応じて、前記キャラクターの見た目を変化させる、データ取得支援装置である。

〒1006620 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第21条(3))

明 細 書

発明の名称：

データ取得支援装置、データ取得支援方法及びプログラム

技術分野

[0001] 本発明は、データ取得支援装置、データ取得支援方法及びプログラムに関する。

背景技術

[0002] 企業や研究機関や医療機関等の組織にとってビッグデータは、それを用いてさまざまなサービスの展開や研究の進展につながるため、その構築は多くの場面で重要である。そのため、多くの組織が所望のデータを得るための装置、デバイス又はシステム（非特許文献1参照）を顧客や実験対象等の人に供給し、彼らの了承を得たうえでこれらの装置等が取得した結果を収集することが行われる。

先行技術文献

非特許文献

[0003] 非特許文献1：「一問一答」から「自然対話」へ 「話すだけでスマホが答えてくれる」, ドコモ通信 Vol.65 <<https://www.docomo.ne.jp/corporate/ir/library/docotsu/65/special.html>>

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、人間は飽きるものである。また人間は、なるべく負担の少ない作業に流れる場合が多いものである。そのため、供給された装置等は徐々に使用されなくなり、収集されるデータの量が少なくなってしまう場合がある。なおこの事情はデータの取得対象が人間である場合に限らず、動物についても同様であった。

[0005] 上記事情に鑑み、本発明は、データの収集量の低下を抑制する技術を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 本発明の一態様は、キャラクターの画像であるキャラクター画像を所定の出力先に表示させる制御部、を備え、前記制御部は、取得対象から得られるデータに応じて、前記キャラクターの見た目を変化させる、データ取得支援装置である。
- [0007] 本発明の一態様は、キャラクターの画像であるキャラクター画像を所定の出力先に表示させる制御ステップ、を有し、前記制御ステップは、取得対象から得られるデータに応じて、前記キャラクターの見た目を変化させる、データ取得支援方法である。
- [0008] 本発明の一態様は、上記のデータ取得支援装置としてコンピュータを機能させるためのプログラムである。

発明の効果

- [0009] 本発明により、データの収集量の低下を抑制することが可能となる。

図面の簡単な説明

- [0010] [図1]実施形態のデータ取得支援システムを説明する説明図。
[図2]実施形態におけるキャラクターの一例を示す第1の図。
[図3]実施形態におけるキャラクターの一例を示す第2の図。
[図4]実施形態におけるキャラクターの一例を示す第3の図。
[図5]実施形態におけるデータ取得支援装置が実行する処理の流れの一例を示すフローチャート。

発明を実施するための形態

- [0011] (実施形態)

図1は、実施形態のデータ取得支援システム100を説明する説明図である。データ取得支援システム100は、センサ1と、データ取得支援装置(Data acquisition support apparatus)2とを備える。

- [0012] センサ1は、歩数計や、脈拍計測器や、血中酸素濃度測定センサ、等の所望の種類のデータを取得対象9から得るセンサである。センサ1の取得した

データ（すなわちセンシングの結果）はデータ取得支援装置２に出力される。

[0013] データ取得支援装置２は、バスで接続されたＣＰＵ（Central Processing Unit）、ＧＰＵ（Graphics Processing Unit）又はＮＰＵ（Neural Network Processing Unit）等のプロセッサ９１とメモリ９２とを備える制御部２１を備え、プログラムを実行する。データ取得支援装置２は、プログラムの実行によって制御部２１、インタフェース部２２及び記憶部２３を備える装置として機能する。

[0014] より具体的には、プロセッサ９１が記憶部２３に記憶されているプログラムを読み出し、読み出したプログラムをメモリ９２に記憶させる。プロセッサ９１が、メモリ９２に記憶させたプログラムを実行することによって、データ取得支援装置２は、制御部２１、インタフェース部２２及び記憶部２３を備える装置として機能する。

[0015] 制御部２１は、例えば、所定の出力先の動作を制御して、キャラクターの画像であるキャラクター画像をその所定の出力先に表示させる。所定の出力先は、例えば、インタフェース部２２が備える後述する表示装置である。

[0016] この表示させるキャラクターの見た目は取得対象９から得られたデータに応じて変化する。すなわち、制御部２１は、取得対象９から得られたデータに応じて、所定の出力先に表示させるキャラクターの見た目を変化させる。

[0017] 図１の画像Ｇ１ａと画像Ｇ１ｂとは、キャラクター画像の一例である。画像Ｇ１ａは変化前のキャラクターの画像の一例であり、画像Ｇ１ｂは、画像Ｇ１ａの示すキャラクターが、取得対象９から得られたデータに応じて変化した後、の像を示すキャラクター画像の一例である。

[0018] ＜キャラクターの見た目の変化の奏する効果＞

このように、データ取得支援装置２は、キャラクターの表示を行わせる。そして、そのキャラクターの見た目は、取得対象９から得られたデータに応じて変化する。自分自身の行動に応じてキャラクターの見た目が変化するため、取得対象９はそのキャラクターの見た目の変化に興味を抱き、更なる変

化を見ようとして、センサ１によるセンシングを継続する。そのため、データ取得支援装置２は、データの収集量の低下を抑制することができる。

[0019] なお、表示されるキャラクターは、例えば、頭部、胴体、手及び脚を有する。表示されるキャラクターは、デフォルメされた人間や動物であってもよい。表示されるキャラクターは、例えば猫や犬等の愛玩動物を模した像であってもよい。

[0020] 図２は、実施形態におけるキャラクターの一例を示す第１の図である。図２のキャラクター９１０は猫等の四足歩行の動物を模した像である。図２のキャラクターは、頭部９１１、耳９１２、目９１３、手９１４、足９１５、胴体９１６及び尻尾９１７を有する。

[0021] 図３は、実施形態におけるキャラクターの一例を示す第２の図である。図３のキャラクター９２０は熊等の二足歩行可能な動物を模した像である。図３のキャラクターは、頭部９２１、耳９２２、目９２３、手９２４、足９２５、胴体９２６及び尻尾９２７を有する。

[0022] 図４は、実施形態におけるキャラクターの見た目の変化の一例を示す第３の図である。図４は一例として、所定の時間内に取得対象９の歩行量が所定の量以上であった場合の、キャラクターの見た目の変化の一例を示す。歩行量が所定の量以上であったので、そのことをユーザに伝えるには、歩行との関わりが強い部位である脚を変化させるのが良い場合がある。

[0023] 図４の例においてキャラクター９３０ａは変化前のキャラクターであり、キャラクター９３０ｂが変化後のキャラクターである。図４に示すように、キャラクター９３０ａの脚が変化したキャラクターが、キャラクター９３０ｂである。

[0024] なお、脚の変化は、長さの変化であってもよい、幅の変化であってもよい、奥行の変化であってもよい、これらの組み合わせであってもよい。脚の変化は、例えば、一定期間内の歩行量に比例する量だけ脚の長さが長くなるという変化である。

[0025] なお、センシングの結果と、変化する部位及び量との関係と、は予め定め

られている。例えば、センシングが歩行量のセンシングであったとして、そのセンシングの結果によって変化する部位は脚と予め定められており、更に、そのセンシングで得られた歩行量と、脚の変化量との関係も予め定められている。

[0026] <ハードウェア構成の説明の続き>

図1の説明に戻る。制御部21は、データ取得支援装置2が備える各機能部の動作を制御する。制御部21は、例えばインタフェース部22を介して、センサ1の取得したデータ（以下「センシングデータ」という。）を取得する。

[0027] 制御部21は、例えば画像データ更新処理を実行する。画像データ更新処理は、センシングデータに基づき、所定の出力先に表示させるキャラクター画像の画像データを更新する処理である。より具体的には、画像データ更新処理は、センシングデータに基づき、所定の出力先で表示されるキャラクターが、変化関係情報が示す変化だけ変化するように、キャラクター画像の画像データを更新する、処理である。

[0028] 変化関係情報は、センシングデータと、キャラクター画像が示すキャラクターの有する部位のうちの変化する部位とその部位の変化量との関係を示す情報である。変化関係情報は、例えば、説明変数をセンシングデータとし、目的変数をキャラクターの変化とする関数である。変化関係情報は、センシングデータと、キャラクター画像が示すキャラクターの有する部位のうちの変化する部位とその部位の変化量との関係を示すテーブルであってもよい。

[0029] 画像データ更新処理による更新後の画像データが、所定の出力先に送信され、所定の出力先は、受信した更新後の画像データが示すキャラクター画像を表示する。言い換えれば、制御部21が所定の出力先の動作を制御して、更新後の画像データが示すキャラクター画像を表示させる。

[0030] 制御部21は、データ取得支援装置2の備える各機能部の動作を制御する。制御部21は、例えばインタフェース部22の動作を制御し、センサ1のセンシングの結果を取得する。制御部21は、例えば記憶部23の記憶する

情報を取得する。記憶部 2 3 の記憶する情報を取得する処理は、具体的には、読み出しである。

[0031] インタフェース部 2 2 は、データ取得支援装置 2 を外部装置に接続するための通信インタフェースを含んで構成される。インタフェース部 2 2 は、有線又は無線を介して外部装置と通信する。外部装置は、例えば、センサ 1 である。インタフェース部 2 2 は、センサ 1 との通信によって、センサ 1 のセンシング結果（すなわちセンシングデータ）を取得する。

[0032] 外部装置は、例えばキャラクターを表示させる所定の出力先であってもよい。このような場合、インタフェース部 2 2 は、有線又は無線を介して、所定の出力先にキャラクター画像の画像データを送信する。

[0033] インタフェース部 2 2 は、マウスやキーボード、タッチパネル等の入力装置を含んで構成されてもよい。インタフェース部 2 2 は、これらの入力装置をデータ取得支援装置 2 に接続するインタフェースとして構成されてもよい。このように、インタフェース部 2 2 の入力装置は、有線又は無線、を介してデータ取得支援装置 2 に対する各種情報の入力を受け付ける。なお、情報は、必ずしもインタフェース部 2 2 の通信インタフェースに入力される必要はなく入力装置に入力されてもよい。

[0034] インタフェース部 2 2 は、例えば、各種情報を出力する。インタフェース部 2 2 は、例えば C R T (Cathode Ray Tube) ディスプレイや液晶ディスプレイ、有機 E L (Electro-Luminescence) ディスプレイ等の表示装置を含んで構成される。インタフェース部 2 2 は、これらの表示装置をデータ取得支援装置 2 に接続するインタフェースとして構成されてもよい。インタフェース部 2 2 は、例えばインタフェース部 2 2 の入力装置に入力された情報を出力する。インタフェース部 2 2 は、例えばキャラクター画像を表示する。

[0035] 記憶部 2 3 は、磁気ハードディスク装置や半導体記憶装置などのコンピュータ読み出し可能な記憶媒体装置 (non-transitory computer-readable recording medium) を用いて構成される。記憶部 2 3 はデータ取得支援装置 2 に関する各種情報を記憶する。記憶部 2 3 は、例えば制御部 2 1 の動作により

生じた各種情報を記憶する。記憶部 23 は、例えばクラウド上に存在していてもよい。

[0036] 図 5 は、実施形態におけるデータ取得支援装置 2 が実行する処理の流れの一例を示すフローチャートである。制御部 21 が、センシングデータを取得する（ステップ S101）。次に制御部 21 が、画像データ更新処理を実行する（ステップ S102）。次に制御部 21 が、所定の出力先の動作を制御して、更新後の画像データが示すキャラクター画像を表示させる（ステップ S103）。

[0037] このように構成されたデータ取得支援装置 2 は、キャラクターを表示させ、しかもそのキャラクターの見た目は、取得対象 9 から得られたデータに応じて変化する。そのため、＜キャラクターの見た目の変化の奏する効果＞で述べた理由により、データ取得支援装置 2 は、データの収集量の低下を抑制することができる。

[0038] また、このように構成されたデータ取得支援システム 100 は、データ取得支援装置 2 を備える。そのため、データ取得支援システム 100 は、データの収集量の低下を抑制することができる。

[0039] （変形例）

なお、図 4 の例では、歩行量と脚とが対応づけられており、歩行量が所定の量以上であった場合に脚が変化した。つまり、センシングの種類と変化する部位とが 1 対 1 の関係にあった。しかしながら、センシングの種類と変化する部位との対応関係は、必ずしも 1 対 1 である必要はなく、部位の変化は複数のセンシングの種類に依存してもよい。例えば、脚の変化が、心拍と歩行量とに応じて変化してもよい。

[0040] また、1 種類のセンシング結果が 1 つの部位の変化だけに用いられる必要もなく、1 種類のセンシングの結果によって複数の部位が変化してもよい。例えば、脚の変化と胴体の変化との両方が、少なくとも歩行量に依存してもよい。

[0041] ＜キャラクターの見た目の変化について＞

見た目の変化は、例えば、帽子や、イヤリングや、眼鏡や、爪や、羽や、リボン等のアクセサリの付与や、アクセサリの変化があってもよい。

[0042] また、見た目の変化は、一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目への変化であってよい。一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目へ変化することによって、データ取得支援装置2は、より一層、取得対象9のキャラクターに対する興味を引くことができる。その結果、データ取得支援装置2は、より一層、データの収集量の低下を抑制することができる。

[0043] <一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目について>

上述の一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目は、例えば人間型のキャラクターについての一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目である。一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目は、例えば動物型のキャラクター等の人間型のキャラクター以外のキャラクターの見た目について一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目であってもよい。

[0044] 一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目とは、例えば、一般的にかわいいと認識される見た目である。一般的にかわいいと認識される見た目は、例えば、手足が顔に対して小さい見た目や、目が大きい見た目や、口がアヒル口である見た目や、口角が下がっていない見た目である。一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目は、例えば、姿形に関して、小さいという見た目や、手足が短くてふっくらしているという見た目であってもよい。

[0045] 一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目とは、例えば、一般的にかっこいいと認識される見た目である。一般的にかっこいいと認識される見た目は、例えば、足が長いという見た目や、筋肉質でありながら細いという見た目である。

[0046] 一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目とは、例えば、一般的に美しいと認識される見た目である。一般的に美しいと認識される見た目は、例えば整った顔立ちをしているという見た目や、全身の左右の対称性が高い見た目である。

[0047] <キャラクターの見た目の変化が一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目

に近づく条件の例とその効果＞

また、キャラクターの見た目の変化は、例えば、取得対象 9 から得られるデータが複数種類である場合において、複数種類の前記データそれぞれの量のデータ全体の量に対する割合が種類ごとの予め定められた割合に近いほど、一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目に近づく、という変化であってもよい。

[0048] このような場合、複数種類のデータを、所望のバランスに近いバランスで取得できる可能性が高まる。ビッグデータは、単にデータの量が多ければ良いものではなく、データのバランスが良いことも重要である。そのため、このようにデータが取得されれば、ビッグデータを構築したい者にとって好ましいデータの収集が可能である。

[0049] なお、データ取得支援装置 2 は、ネットワークを介して通信可能に接続された複数台の情報処理装置を用いて実装されてもよい。この場合、制御部 21 の実行する各処理は、複数の情報処理装置が分散して実行してもよい。

[0050] なお、データ取得支援システム 100 の各機能の全て又は一部は、ASIC (Application Specific Integrated Circuit) や PLD (Programmable Logic Device) や FPGA (Field Programmable Gate Array) 等のハードウェアを用いて実現されてもよい。プログラムは、コンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録されてもよい。コンピュータ読み取り可能な記録媒体とは、例えばフレキシブルディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置である。プログラムは、電気通信回線を介して送信されてもよい。

[0051] 以上、この発明の実施形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計等も含まれる。

符号の説明

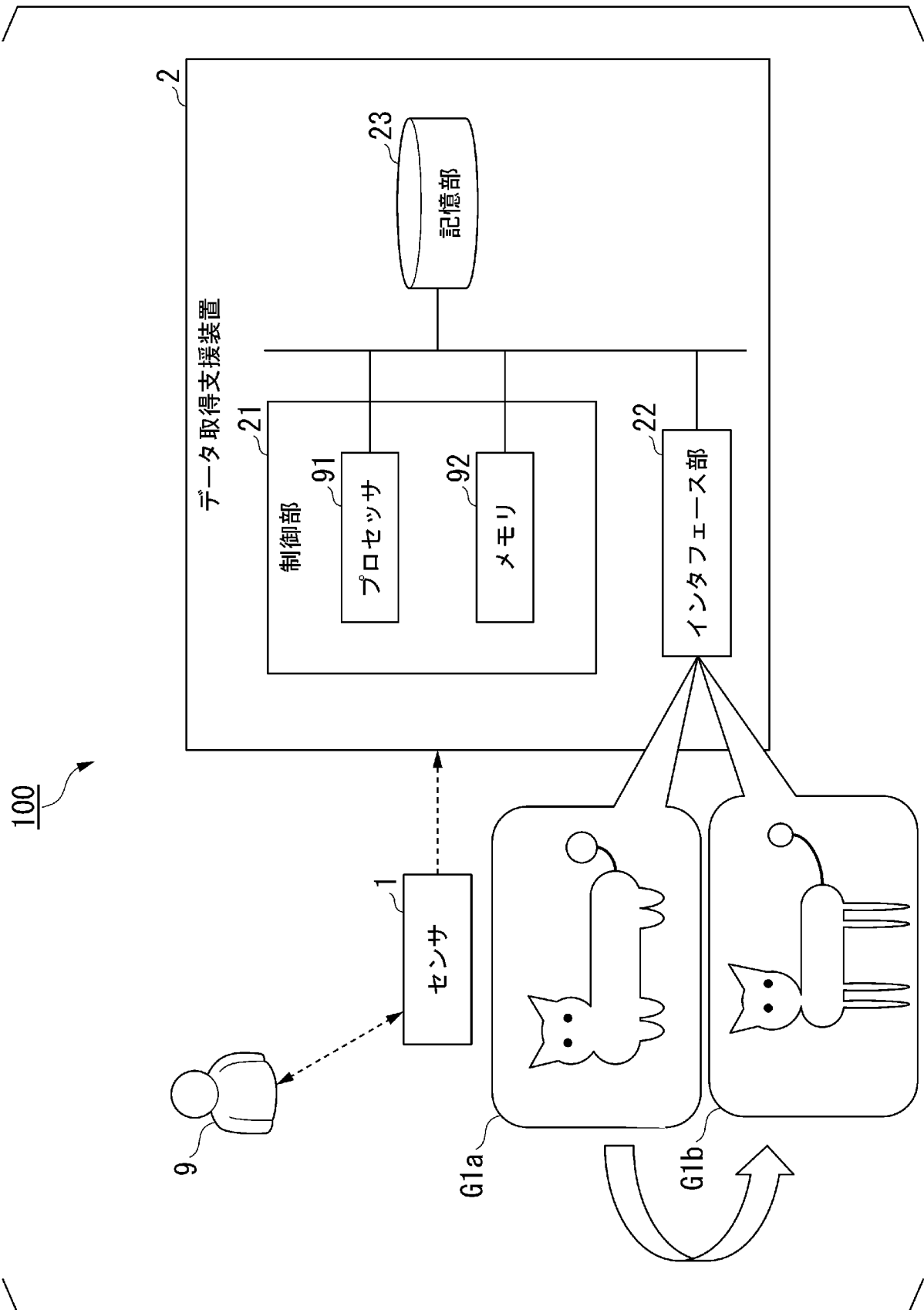
[0052] 100…データ取得支援システム、 1…センサ、 2…データ取得支援装置、 21…制御部、 22…インタフェース部、 23…記憶部、 9

1…プロセッサ、 92…メモリ

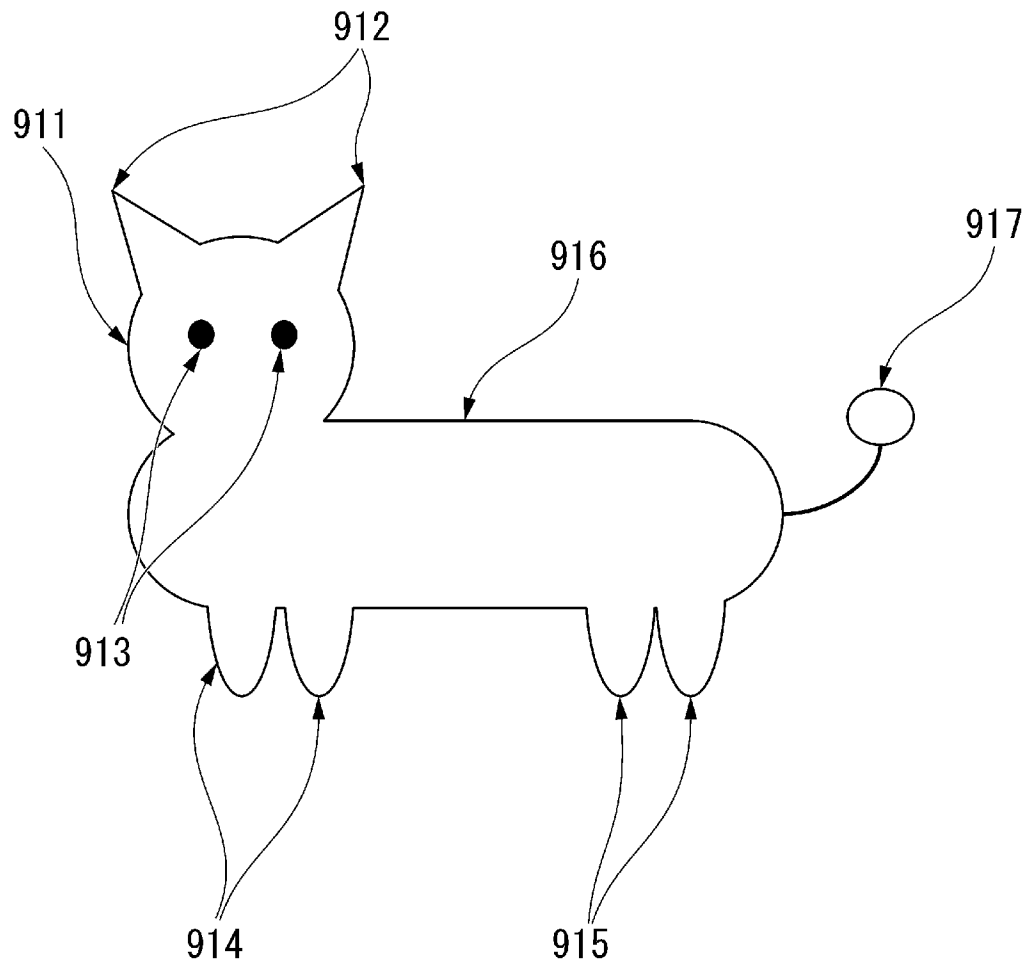
請求の範囲

- [請求項1] キャラクターの画像であるキャラクター画像を所定の出力先に表示させる制御部、
- を備え、
- 前記制御部は、取得対象から得られるデータに応じて、前記キャラクターの見た目を変化させる、
- データ取得支援装置。
- [請求項2] 前記キャラクターの見た目の変化は、一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目への変化である、
- 請求項1に記載のデータ取得支援装置。
- [請求項3] 取得対象から得られるデータが複数種類である場合において、前記キャラクターの見た目の変化は、複数種類の前記データそれぞれの量のデータ全体の量に対する割合が種類ごとの予め定められた割合に近いほど、一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目に近づく、という変化である、
- 請求項2に記載のデータ取得支援装置。
- [請求項4] 一般的に好意的な感情を抱きやすい見た目は、一般的にかawaiiと認識される見た目、一般的にかっこいいと認識される見た目、又は、一般的に美しいと認識される見た目である、
- 請求項2に記載のデータ取得支援装置。
- [請求項5] キャラクターの画像であるキャラクター画像を所定の出力先に表示させる制御ステップ、
- を有し、
- 前記制御ステップは、取得対象から得られるデータに応じて、前記キャラクターの見た目を変化させる、
- データ取得支援方法。
- [請求項6] 請求項1から4のいずれか一項に記載のデータ取得支援装置としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

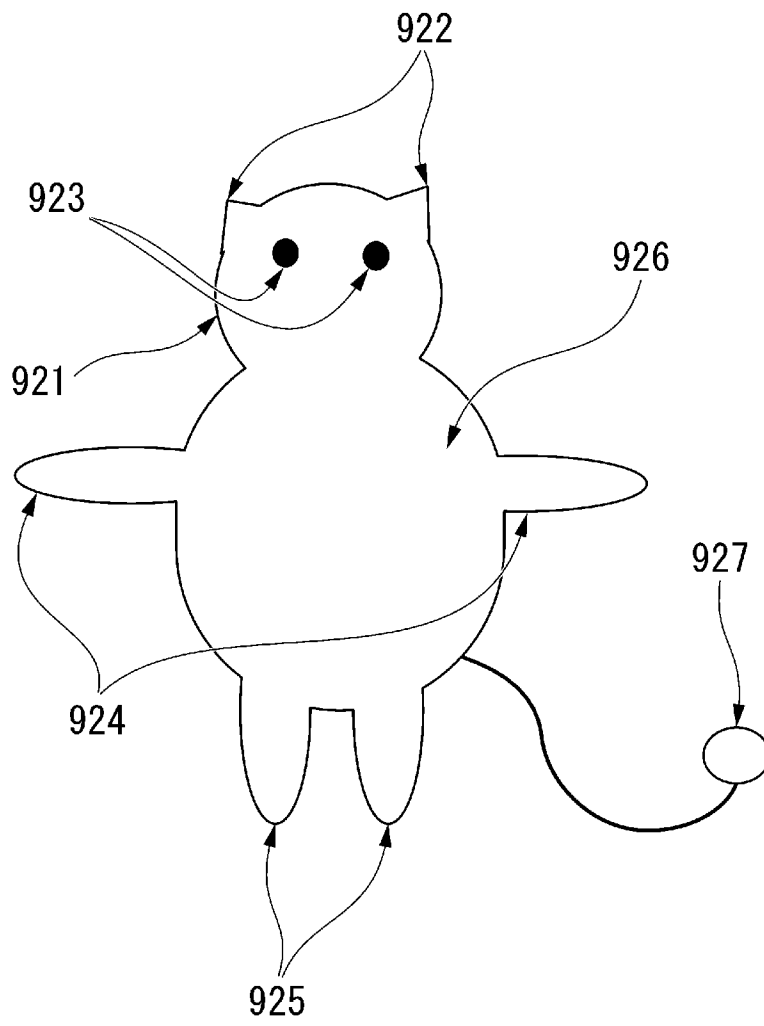
[図1]



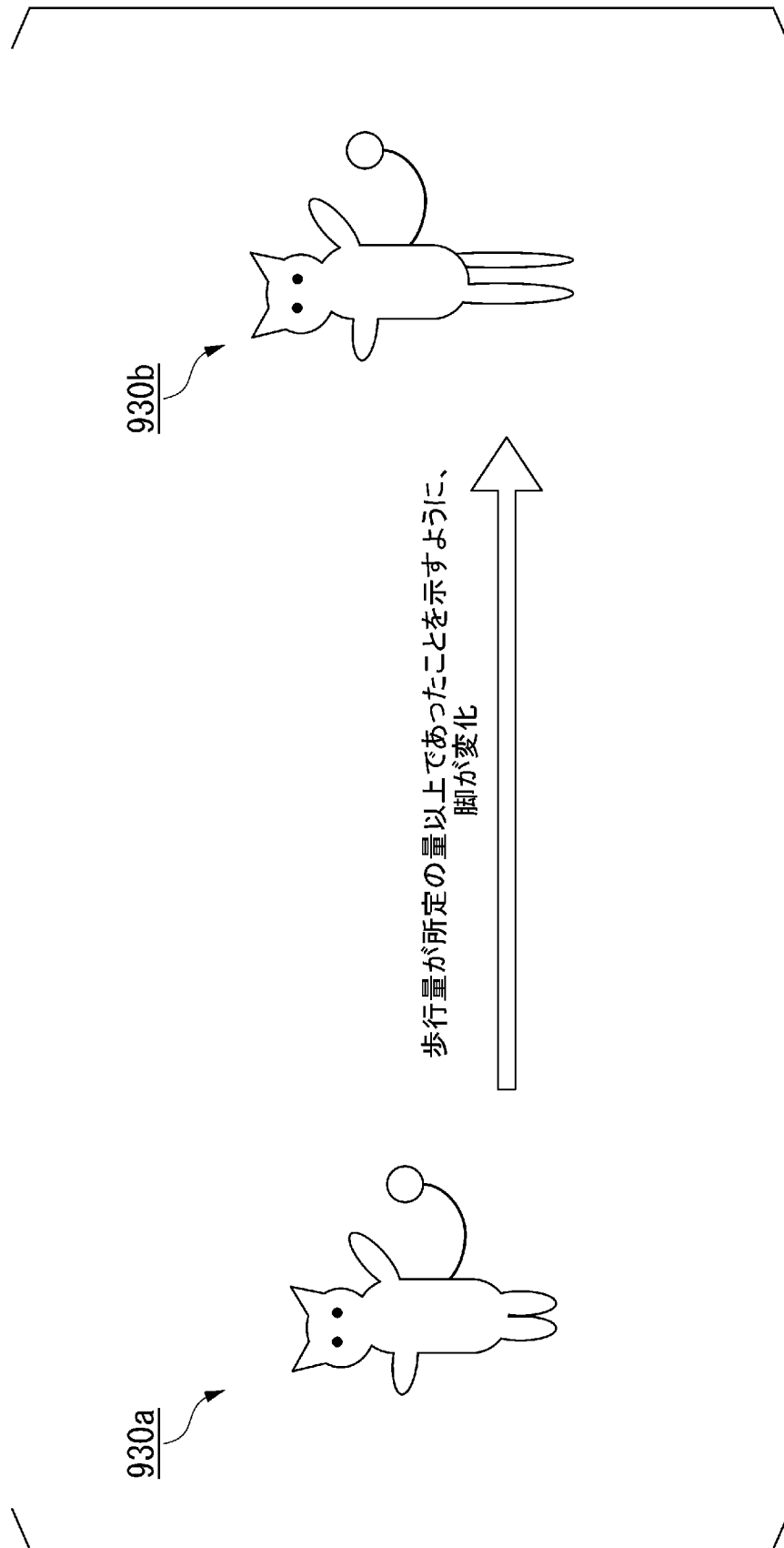
[図2]

910

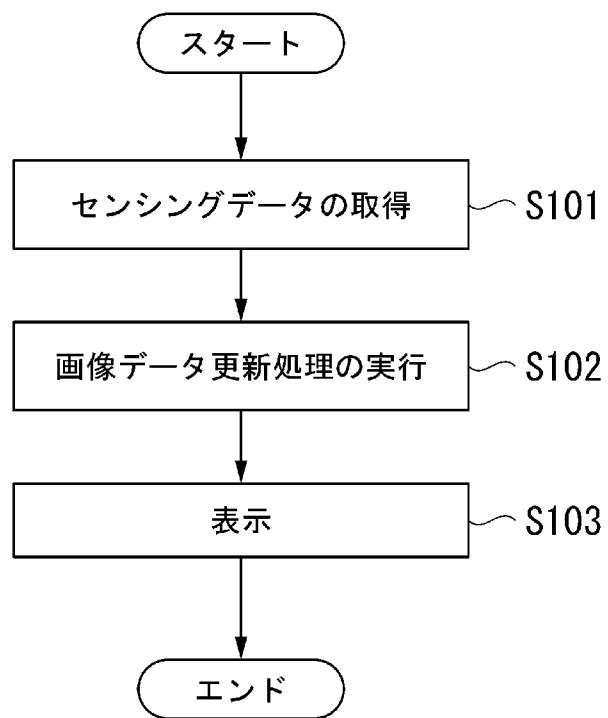
[図3]

920

[図4]



[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/044637

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**G06T 13/80**(2011.01)i

FI: G06T13/80 A

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06T13/80; A63F13/825; G06M3/00; A61B5/22; A63B71/06; G01C22/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2024

Registered utility model specifications of Japan 1996-2024

Published registered utility model applications of Japan 1994-2024

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 7-181056 A (CASIO COMPUTER CO., LTD.) 18 July 1995 (1995-07-18) paragraphs [0009]-[0012], [0021], [0036]-[0042], fig. 1-2, 8	1-2, 4-6
X	JP 2020-044222 A (POKEMON KK) 26 March 2020 (2020-03-26) paragraphs [0015], [0025], [0028], [0033], [0035], [0049], [0072], [0097]-[0103], [0105]-[0110], fig. 13-14	1-2, 4-5
Y	paragraphs [0015], [0025], [0028], [0033], [0035], [0049], [0072], [0097]-[0103], [0105]-[0110], fig. 13-14	3, 6
Y	WO 2016/021236 A1 (NINTENDO CO., LTD.) 11 February 2016 (2016-02-11) paragraphs [0048]-[0050], [0058], [0078], [0079], [0081], [0086], [0093], [0098], [0100], [0116], [0261], [0284], fig. 1-2	3, 6



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“D” document cited by the applicant in the international application

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

05 February 2024

Date of mailing of the international search report

20 February 2024

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2023/044637

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	7-181056	A	18 July 1995	(Family: none)	
JP	2020-044222	A	26 March 2020	US 2021/0205701 A1 paragraphs [0028], [0038], [0041], [0046], [0048], [0062], [0085], [0111]-[0117], [0119]- [0124], fig. 13-14	
				WO 2020/059816 A1	
WO	2016/021236	A1	11 February 2016	US 2017/0136348 A1 paragraphs [0113]-[0115], [0123], [0145], [0146], [0148], [0172], [0186], [0193], [0195], [0211], [0375], [0405], fig. 1-2	
				WO 2016/021235 A1	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

G06T 13/80(2011.01)i
FI: G06T13/80 A

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

G06T13/80; A63F13/825; G06M3/00; A61B5/22; A63B71/06; G01C22/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報1922 - 1996年

日本国公開実用新案公報1971 - 2024年

日本国実用新案登録公報1996 - 2024年

日本国登録実用新案公報1994 - 2024年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 7-181056 A（カシオ計算機株式会社）18.07.1995（1995 - 07 - 18） 段落[0009]-[0012], [0021], [0036]-[0042], 図1-2, 8	1-2, 4-6
X	JP 2020-044222 A（株式会社ポケモン）26.03.2020（2020 - 03 - 26） 段落[0015], [0025], [0028], [0033], [0035], [0049], [0072], [0097]- [0103], [0105]-[0110], 図13-14	1-2, 4-5
Y	段落[0015], [0025], [0028], [0033], [0035], [0049], [0072], [0097]- [0103], [0105]-[0110], 図13-14	3, 6
Y	WO 2016/021236 A1（任天堂株式会社）11.02.2016（2016 - 02 - 11） 段落[0048]-[0050], [0058], [0078], [0079], [0081], [0086], [0093], [0098], [0100], [0116], [0261], [0284], 図1-2	3, 6

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの

“D” 国際出願で出願人が先行技術文献として記載した文献

“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献

“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
05.02.2024

国際調査報告の発送日
20.02.2024

名称及びあて先
日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

権限のある職員（特許庁審査官）

村松 貴士 5V 2374

電話番号 03-3581-1101 内線 3569

様式 PCT/ISA/210（第2ページ）（2022年7月）

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/044637

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	7-181056	A	18.07.1995	(ファミリーなし)	
JP	2020-044222	A	26.03.2020	US 2021/0205701 A1	
				段落[0028], [0038], [0041], [0046], [0048], [0062], [0085], [0111]- [0117], [0119]-[0124], 図 13-14	
				WO 2020/059816 A1	
WO	2016/021236	A1	11.02.2016	US 2017/0136348 A1	
				段落[0113]-[0115], [0123], [0145], [0146], [0148], [0172], [0186], [0193], [0195], [0211], [0375], [0405], 図1-2	
				WO 2016/021235 A1	